

Column

EXILE ÜSA DANCE EARTH-JAPAN vol.3

EXILE ÜSAが、日本の祭と踊りを訪ねるDANCE EARTH JAPAN。今回は2つの夏の盆踊り「郡上踊り」「姫島盆踊り」に参加して、日本のダンスのユニークさを再発見！

「郡上踊り」は街中がオールナイトのダンスフロア！

日本の伝統的なダンスといえば盆踊り。EXILE ÜSAはDANCE EARTH JAPANで日本各地の盆踊りを訪ね、参加した。「郡上踊り」は、人口約1万5000人の小さな城下町、郡上(ぐじょう)市八幡町で、徹夜で踊られる盆踊り。「深夜を過ぎても踊ってもいい素敵な空間が、日本にあったなんて…」驚きながら訪れた街には、踊る人・人・人!! 若い人、おじいちゃんやおばあちゃん、地元の人も観光客も、全員が列をつつてゆったりと楽しく踊っている。しかも、街全体が祭り会場となっている中、踊っていると何度も同じ人とすれ違う。踊りを通して見知る人々たちと連帯感も芽生えて来るのかい。「こんな街に生まれて、毎年この祭りで踊っている人たちって、とっても羨ましくないですか?」と思わずÜSAが呟いた。



1.浴衣に歌舞伎風の隈取りを施して、こっそり参加するÜSA。2.古い街並みを流れる水路に灯籠が並べられ、踊り手のシルエットが映し出される。

大分県の「姫島盆踊り」で「キツネ踊り」に挑戦。

大分県姫島「姫島盆踊り」は、なんと50種類以上の踊りが披露される盆踊り。島内を7つの地区に分け、そのそれぞれに「盆坪」という踊り場が設けられ、各地区がそれぞれの踊りを、すべての盆坪を回りながら披露してゆく仕組みだ。その、数多い踊りの中でも独特なのが、全身白装束で提灯を吊るした赤い傘を持ち、キツネの仕草をまねて踊る「キツネ踊り」。元来、子どもたちだけで踊る愛らしい踊りだ。その他にも全身黒装束の「クロホ踊り」やタヌキの仮装をする「タヌキ踊り」など、まるで昔話の世界にでも迷いこんだような素朴な踊りが見られる。「小さな島にたくさんの踊りが存在する姫島は、実は日本人が世界一踊り好きな人種だっていうことを証明する場所!!」と、ÜSAも感動。興奮も最高潮に高まった。



1.九州北東部の国東半島から北に約6kmの海上に浮かぶ人口2000人程の小さな島、姫島へ。2.島に着くとキツネ踊りの足運びのレクチャーを受けて、いよいよ祭りに参加。3.人間が動物に化けたのか動物が人間に化けたのか、「神秘的な島の祭りですね」とÜSA。※いずれも、2013年の画像です

DANCE EARTH-JAPAN

「日本を踊る」をテーマに、EXILE ÜSA が日本の祭りやダンスを旅するプロジェクト。その旅を完全収録したDVD「日本で踊ろう! DANCE EARTH - JAPAN」が2015年1月にリリースされた。
http://www.dance-earth.com/japan/
ダンスアースをテーマにしたグローバルダンスエンターテインメントの舞台「Changes」DVDも発売中。



EXILE TETSUYAが、龍谷大付属平安高校の練習に参加!



EXILEのパフォーマー・TETSUYAは、自身で「EXILEパフォーマンス研究所(E.P.I)」を設立し、淑徳大学文学部表現学科客員教授という学究肌の一面もある。そんなTETSUYAが、この日やってきたのは京都・伏見区醍醐にある龍谷大付属平安高校のグラウンド。高校生たちが、独特のウォーミングアップで試合成績を飛躍的に伸ばした…という話を聞いて、表敬訪問。そしてその時の練習に参加したのだった。ウォーミングアップは、まず体幹を意識した柔軟体操、アクロバットのような倒立やジャンプ、走り、そして全身をくねらせるストレッチも。身体を全方位から伸ばすエクササイズだった。さっそく列に加わったTETSUYAは、初参加ながら大健闘。しかし、みんな身体が柔らかい! トレーナーの中田佳和氏は「体幹を鍛えて柔軟性を高めることが、ケガをしないで長くスポーツができる身体づくりに大切です。それに、身体の柔らかさと心の動きはリンクしますよ」。 「じゃあ、人間関係も良くするウォーミングアップですね!」と驚くTETSUYA。この日得たエクササイズのヒントは、今後のパフォーマンスに活かされるはずだ。

1.青空の下、練習に参加。「高校生からビューアな気持ちをもたらした」とTETSUYA。2.「動きは、選手よりもキレイです」と中田トレーナーからお褒めの言葉も。さすがはパフォーマー。3.強さだけでなく、心と身体の関係も重視するトレーナーの中田佳和氏。4.終了後、ちょっとリラックスして記念撮影!

Music

早くも10枚目になるシングルリリースが決定! 7人組ガールズ・エンタテインメントユニットFlower

2011年、約3万人が応募したオーディション「EXILE Presents VOCAL BATTLE AUDITION 3 ~For Girls~」から選出されたメンバーが加入し、本格的に始動したFlower。ガールズ・エンタテインメント・プロジェクト E-girlsとして NHK紅白歌合戦に2年連続出場。2015年6月から初の単独ツアー「Flower LIVE TOUR 2015“花時計”」を開催! キャラクターの光るメンバーたちは、女性誌の専属モデルや、TV番組への出演など、多方面で活躍中。そんな彼女達が、10枚目になる NEWシングル「Blue Sky Blue」をリリースした。



「Blue Sky Blue」 CD+DVD AICL-2863~64 初回生産限定盤 1500円(税別)

NEXT BREAK Profile



Vol.7 杉山麻衣さんが、いまイチオシの俳優をプロフィール。新しい才能をいち早くキャッチ!

池田エライザ



Profile 1996年福岡県生まれ。2009年から「ニコラ」、2013年から「CanCam」専属モデル。2011年映画「高校デビュー」、2013年「絶対学級」に出演。モデルブック「@elaiza_ikd」(小学館)発売中。 twitter:@elaiza_ikd

「CanCam」専属モデルをつつめながら、女優としても注目度急上昇中の池田エライザ。仕事への想いを訊くと「モデルのお仕事も女優のお仕事も、難しいところは自問自答の日々ということ。客観と主観を織り交ぜて考えること。楽しいのは、そこから新しいビジョンを見出せることと、そこに足を踏み入れる時。人となりかそのまま表現される仕事なので愛情を捧ぐと、返ってきます」と、実に客観的、論理的、オリジナルな言葉にドキッ。そんな「エライザトーク」を綴ったツイッターには、なんと15万人のフォロワーがいる。甘いルックスとクールな内面、その裏表のギャップが魅力?でも本人的には「会った人が裏だと思えば裏だし表だと思えば表。部屋の角っかがすきでランウェイがすき。へんな感じですが、そういう感じです」。かわいさと人間性の深さで、見る人を引き込む新星だ。



マーブルフィルム
キャスティングディレクター
杉山麻衣のコメント

キャスティングを担当しました映画「みんなエスパーだよ!」のヒロイン役オーディションにて、物怖じしない受け答えで、審査員を自分のペースに巻き込んでいった彼女の人間力と頭の良さが印象に残っています。度胸と集中力と芝居の勘の良さ。そして、根性もあり、努力を惜しまない。ただのモデルでは終わらない可能性をヒリヒリ感じます。「みんな…」はコメディ要素が強い作品ですが、いつか彼女が人生をぶつけて挑むようなキャラクターを演じている姿を観たいです。

Profile 愛知県出身。主に映画や舞台のキャスティングを担当。最新作「みんなエスパーだよ!」(9月4日公開)「ラブ&ピース」[新宿スワン](園子温監督) マーブルフィルム公式HP <http://marblefilm.jp/>

GRAND MARBLE JOURNAL

飲酒運転撲滅へ、「SDD-STOP! DRUNK DRIVING PROJECT」

2007年にスタートした「SDD-STOP! DRUNK DRIVING PROJECT」は、飲酒運転撲滅のためのプロジェクト。この呼びかけに、多くのミュージシャンたちが賛同。「LIVE SDD 2015」では、8年連続でプロジェクト・リーダーを務める STARDUST REVUE、TRFをはじめとするアーティスト

が熱いライブを披露した。会場の大阪城ホールでは1万1000人の SDDメッセンジャーたちが飲酒運転撲滅の誓いをともに歌い上げた。

「LIVE SDD 2015」は、大阪城ホールで2015年2月22日に開催された。<http://fmosaka.net/sdd/>



京都で、伝統芸能の異ジャンルが競演 藤舎貴生プロデュースのステージ「未来創伝」

歌舞伎の市川猿之助、女優の若村麻由美、日本舞踊の尾上菊之丞、狂言の茂山逸平、そしてナビゲーターに落語家の桂米團治。これだけの多ジャンルの伝統芸能の演者が一つの舞台上で競演する前代未聞の贅沢なステージ「未来創伝」が、

横笛奏者の藤舎貴生プロデュースで上演された。市川猿之助出演の「八俣大蛇II」では、ダンサーも参加し、宙乗りもあり…というダイナミックな演出に会場は大興奮。古典に新たな魅力と息吹が吹き込まれた。



「未来創伝」は、2014年12月25日、京都造形芸術大学「春秋座」で上演された。